

# ボランティア相談員になるための研修（養成）

社会福祉法人 いのちの電話

## 助成事業の概要

**実施目的：**電話のかけ手の気持ち・感じ方・今の気持ちを受容し、また、かけ手との共感関係を構築する能力を育てます。

**実施時期：**養成研修の合宿：2022年4月29日～5月1日（3日間通い合宿）  
リーダー合宿：2023年1月28日～29日（2日間通い合宿）  
インターン研修：2023年1月24日、31日、2月14日、3月14日、に 予定通り実施しました。

**内容等：**養成研修：自分たちが主体的に取り組む合宿研修に最初は戸惑いがあったものの、話題探しから、ねらいである自分・他者と向き合い、今ここでかわることへ手探りで向かいました。  
リーダー合宿：当初予定されていた講師が都合でキャンセルとなり、若い期のリーダーのために、継続研修で使えるワークを中心に行いました。  
インターン期：相談員として活動を開始する前準備としての事務手続きや組織の仕組みについても詳細な説明を行い、スムーズに活動に入るための配慮をしました。

## 事業の成果

2020年以來、コロナによる経済的な理由や精神的に不安定となった方々の自殺者の増加で、いの

ちの電話がマスコミに取り上げられることが非常に増えました。電話が繋がらない、相談員が減っている、等の報道もなされ、その影響か、相談員募集には通常の倍以上を超える応募をいただきました。

今までの受け入れ態勢、研修体制を見直し、研修に携わるメンバーをそろえて養成研修に取り組みました。お陰様で、55期生は29名が相談員として認定を受けることができました。現在インターン期を終了して、相談員として今後の活躍を期待されているところです。

毎月の継続グループを担うリーダーも、様々な研修やワークを通じて、メンバーにわかりやすく楽しめるような工夫を凝らしたグループ運営を担うための合宿ができたと自負しております。

養成研修50期から今までのカリキュラムを見直した新体制が始まり、ようやくその体制が軌道に乗ってきております。インターン期も50期から開始され、相談員として活動する前の助走期として大切な役割を果たしております。いろいろな変更を強いられる中で、合宿研修を含めた養成研修を続けることができ、ホッとしております。

## 成果の広報・公表

コロナ禍により、気持ちが不安定になったり、落ち着きが失われたり、持病が悪化した等々、私たちの電話相談の必要性がますます高まっております。

電話がつながりにくい、という苦情も多くなり相談員も大変です。その一方で、電話相談を担うボ

ランティアも高齢化が進み、コロナ禍により参加率が低下していることも事実です。そんな中、会場を借りるための助成金をいただいたことで、通常通りの養成研修を、様々な工夫を凝らして継続できたことが、何より相談員を養成する機会を失うことなく、今後の継続した安定した活動の運営に寄与することと、ホッとしております。今後もスタッフの高齢化や人手不足が見込まれますが、安定した研修の機会を設けることにより、相談員の育成に努めてまいり所存です。コロナによる予定の変更もあり、助成金についての変更もご快諾いただき、深く感謝申し上げます。

## ■ 今後の展開

---

昨年からの研修の延期の影響で、予定されていた研修生の合宿の日程が変更になり、日帰り3日の研修となりました。しかしながら、2021年度秋から研修にはいつもの倍以上の研修生の参加があり、現在32名が引き続き、養成研修を続けております。2023年度の合宿は2年ぶりの宿泊研修を予定しております。来年度の相談員応募についての問い合わせもいくつか入っており、引き続き、私たちの活動に関心をもってくださる方々が増えたようです。

今後もコロナが収束するかどうかは未定ですが、消極的になることなく相談員を増やすべく、引き続き研修担当も頑張っていく所存です。